

伊那市生涯学習基本構想 令和 6 年度達成状況の概要

伊那市生涯学習推進委員及び担当部局において、年度当初に立てた事業計画に対し実績を確認し、達成目標に対する評価を行いました。詳細は、基本構想進行管理シートのとおりです。

○令和 6 年度達成状況

(1) 全体概要

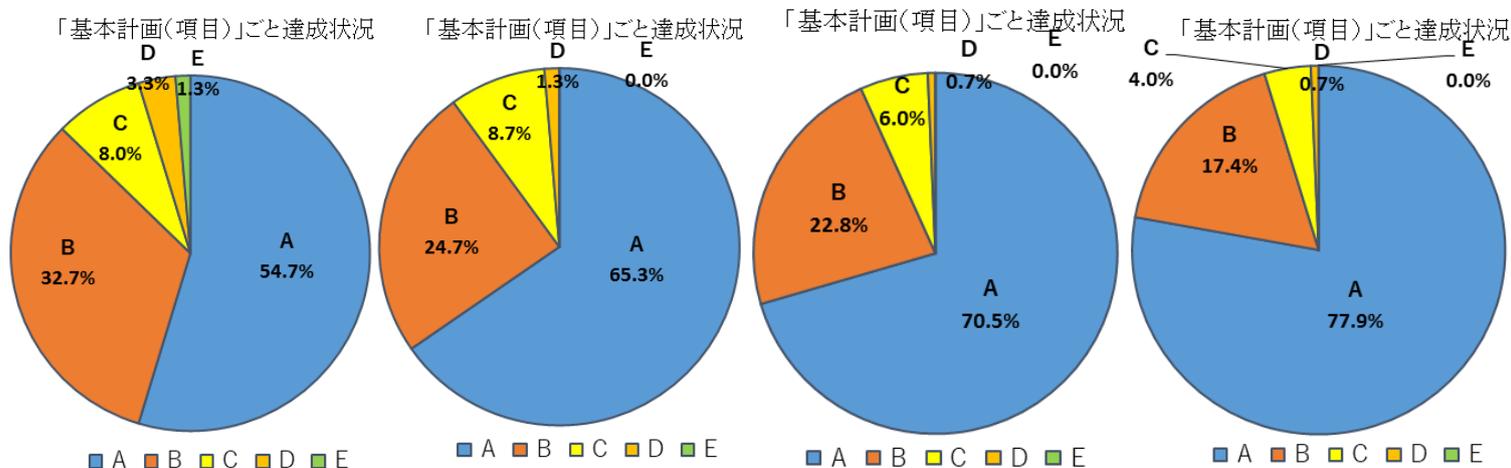
達成状況 評価	令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
	「基本計画」 に係る事業 数	割合 (%)	「基本計画」 に係る事業 数	割合 (%)	「基本計画」に 係る事業数	割合 (%)	「基本計画」に 係る事業数	割合 (%)
A	82	54.7	98	65.3	105	70.5	116	77.9
B	49	32.7	37	24.7	34	22.8	26	17.4
C	12	8.0	13	8.7	9	6.0	6	4.0
D	5	3.3	2	1.3	1	0.7	1	0.7
E	2	1.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	150	100.0	150	100.0	149	100.0	149	100.0

【令和 3 年度】

【令和 4 年度】

【令和 5 年度】

【令和 6 年度】



※達成状況評価 A：80%以上、B：50%以上 80%未満、C：50%未満、D：検討・準備中、E：未着手

※重点項目：第2次基本構想期間中、前期5年間に市が重点的に取り組むべき項目とし、市生涯学習基本構想審議会が選定

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。

※評価の基準は、上記のとおりだが、社会教育委員会において、評価の基本は上記のとおりだが、事業実施においての過程をより重視して評価すべきであるとのことから、評価が実績の数値のとおりでない事業もある。

○全体的な評価では、令和3年度から4年が経過する中で、令和3年度と比較し、A評価となる事業が82事業から116事業となっており、令和7年度の目標に向け着実に推進されてきている。

○今回、多くの事業で、評価が上がる中で、評価を下げたものが5事業あった。

1つ目が進行管理シートの16ページ事業①「伝統芸能の魅力に触れる体験事業を開催し、伝統文化の保存・継承に対する市民の意識向上を図る」で、一般向けの体験学習を企画したが、最低催行人数に達せず中止になったためAからB評価となっている。

2つ目が41ページの事業①では、防災お出かけ講座の人数が目標人数に達しないことと、防災施策策定地区の数が目標数に達しないことからAからB評価となっている。

3つ目が85ページ事業②「シルバー人材センターの利用促進」で、軽作業サービス助成券の利用枚数が目標数に達しないためAからB評価となっている。

4つ目が98ページ事業①「介護予防ボランティアポイント事業実施」でポイント事業への登録者数が伸び悩んだためA評価からB評価となっている。

5つ目が109ページの事業①の「まほらいな市民大学の開催」で、学生数が伸び悩んだことから、B評価からC評価となっている。

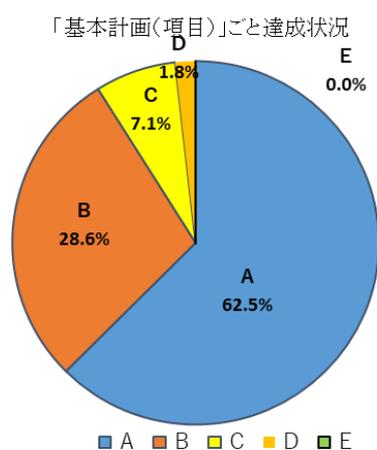
この5事業については、事業自体は推進されているものの、実績が伸び悩んでいることから、内容を検証し次年度の事業計画につなげる必要がある。

○令和3年度当初は、新型コロナウイルス感染症により、事業が中止になるものもあったが、通常実施が困難な中でも、実施方法の見直しをして、この4年間行ってきたことが評価が上がってきている要因であると考ええる。

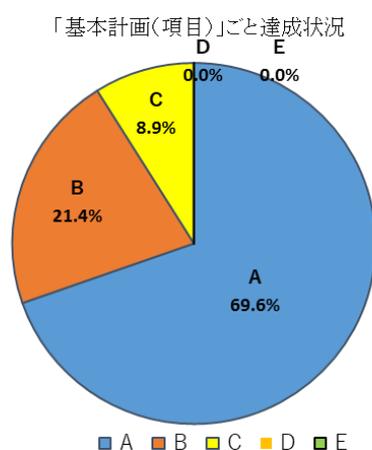
(2) 重点項目 1 2 項目

達成状況 評価	令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
	重点項目の 「基本計画」 に係る 事業数	割合 (%)						
A	35	62.5	39	69.6	43	76.8	45	80.4
B	16	28.6	12	21.4	10	17.9	9	16.1
C	4	7.1	5	8.9	3	5.4	2	3.6
D	1	1.8	0	0	0	0	0	0
E	0	0	0	0	0	0	0	0
計	56	100.0	56	100.0	56	100.0	56	100.0

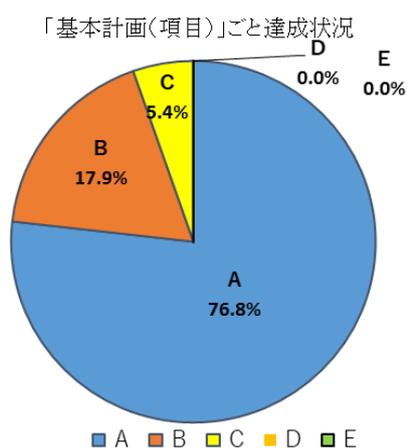
【令和 3 年度】



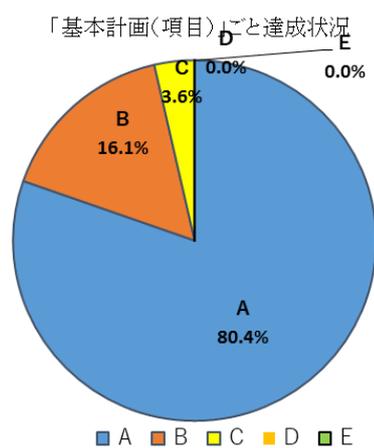
【令和 4 年度】



【令和 5 年度】



【令和 6 年度】



- 重点項目は第 2 次基本構想期間中、前期 5 年間に市が重点的に取り組むべき項目とし、市生涯学習基本構想審議会が選定し取り組みを行っている。
- 重点項目を見ても、4 年経過する中では、A 評価となる事業が増えており、事業が着実に推進されてきているのを見て取れる。
- 重点項目は、市が重点的に取り組む事業であり、5 年後の目標に向かって、4 年目で A 評価が 80% を超えてきていることはよい傾向であると考えられる。

(3) 「施策の大綱」ごと集約

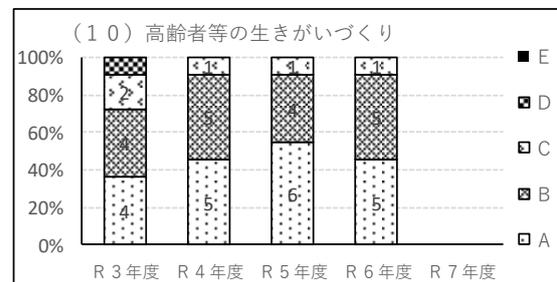
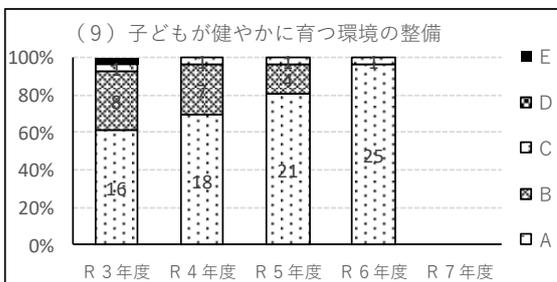
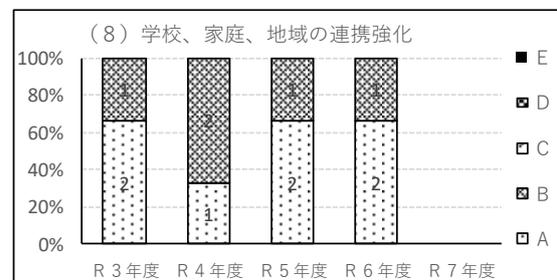
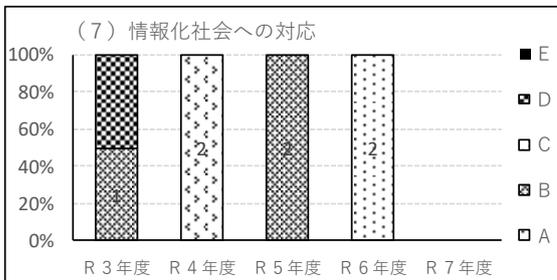
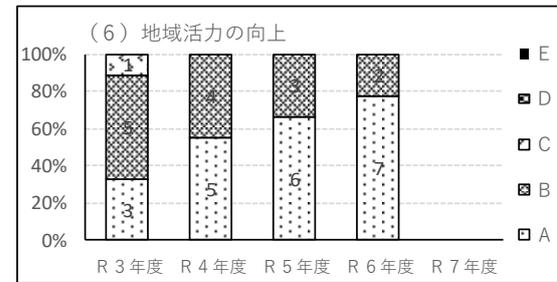
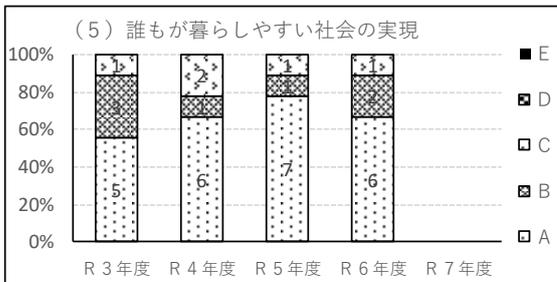
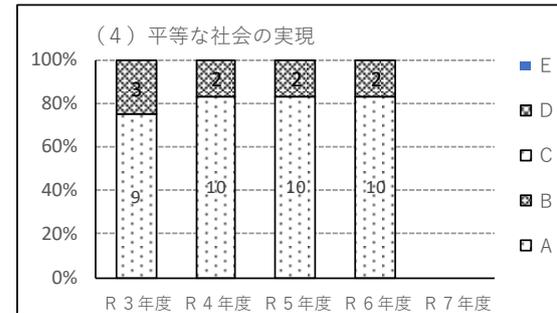
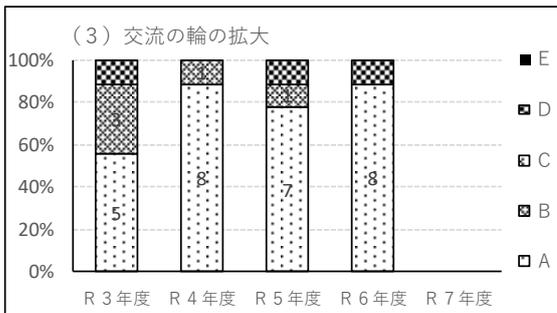
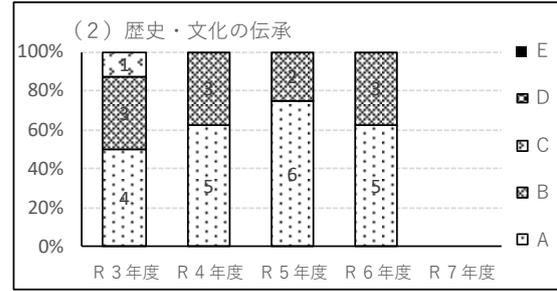
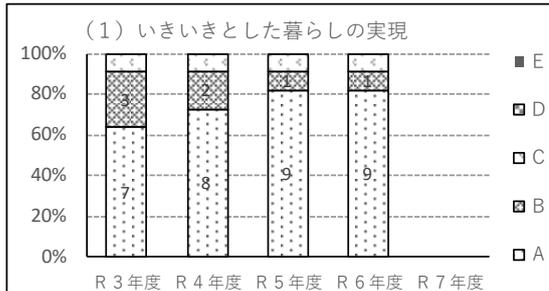
≪ 1 学習活動の推進 基本施策 ≫

施策の大綱	達成状況評価	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		「基本計画(項目)」の項目数	%	「基本計画(項目)」の項目数	%	「基本計画(項目)」の項目数	%	「基本計画(項目)」の項目数	%
(1) いきいきとした暮らしの実現	A	7	63.6	8	72.7	9	81.8	9	81.8
	B	3	27.3	2	18.2	1	9.1	1	9.1
	C	1	9.1	1	9.1	1	9.1	1	9.1
	D								
	E								
	計	11	100.0	11	100.0	11	100.0	11	100.0
(2) 歴史・文化の伝承	A	4	50.0	5	62.5	6	75.0	5	62.5
	B	3	37.5	3	37.5	2	25.0	3	37.5
	C	1	12.5						
	D								
	E								
	計	8	100.0	8	100.0	8	100.0	8	100.0
(3) 交流の輪の拡大	A	5	55.6	8	88.9	7	77.8	8	88.9
	B	3	33.3	1	11.1	1	11.1		
	C								
	D	1	11.1			1	11.1	1	11.1
	E								
	計	9	100.0	9	100.0	9	100.0	9	100.0
(4) 平等な社会の実現	A	9	75.0	10	83.3	10	83.3	10	83.3
	B	3	25.0	2	16.7	2	16.7	2	16.7
	C								
	D								
	E								
	計	12	100.0	12	100.0	12	100.0	12	100.0
(5) 誰もが暮らしやすい社会の実現	A	5	55.6	6	66.7	7	77.8	6	66.7
	B	3	33.3	1	11.1	1	11.1	2	22.2
	C	1	11.1	2	22.2	1	11.1	1	11.1
	D								
	E								
	計	9	100.0	9	100.0	9	100.0	9	100.0
(6) 地域活力の向上	A	3	33.3	5	55.6	6	66.7	7	77.8
	B	5	55.6	4	44.4	3	33.3	2	22.2
	C	1	11.1						
	D								
	E								
	計	9	100.0	9	100.0	9	100.0	9	100.0
(7) 情報化社会への対応	A							2	100.0
	B	1	50.0			2	100.0		
	C			2	100.0				
	D	1	50.0						
	E								
	計	2	100.0	2	100.0	2	100.0	2	100.0
(8) 学校、家庭、地域の連携強化	A	2	66.7	1	33.3	2	66.7	2	66.7
	B	1	33.3	2	66.7	1	33.3	1	33.3
	C								
	D								
	E								
	計	3	100.0	3	100.0	3	100.0	3	100.0
(9) 子どもが健やかに育つ環境の整備	A	16	61.5	18	69.2	21	80.8	25	96.2
	B	8	30.8	7	26.9	4	15.4		
	C	1	3.8	1	3.8	1	3.8	1	3.8
	D								
	E	1	3.8						
	計	26	100.0	26	100.0	26	100.0	26	100.0
(10) 高齢者等の生きがいづくり	A	4	36.4	5	45.5	6	54.5	5	45.5
	B	4	36.4	5	45.5	4	36.4	5	45.5
	C	3	27.3	1	9.1	1	9.1	1	9.1
	D								
	E								
	計	11	100.0	11	100.0	11	100.0	11	100.0

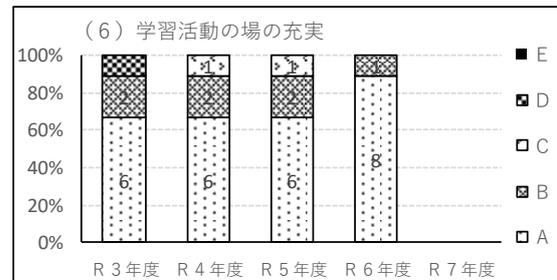
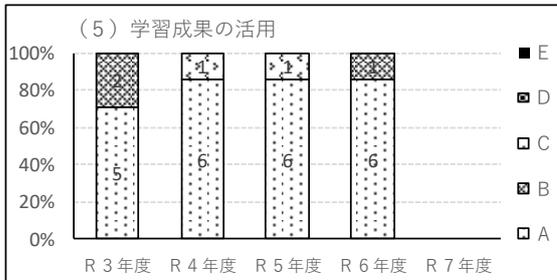
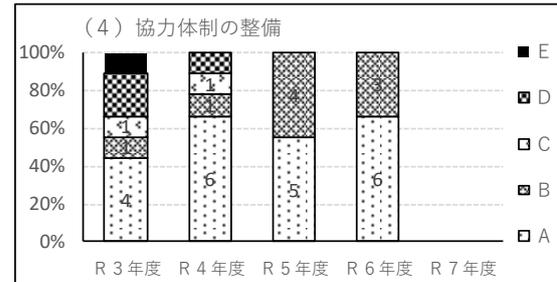
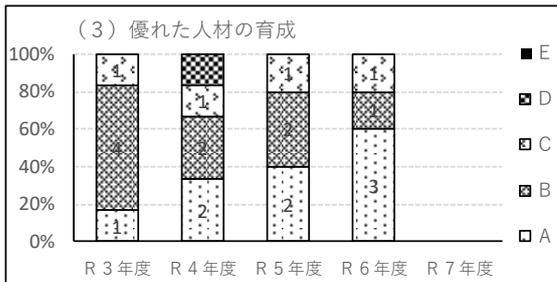
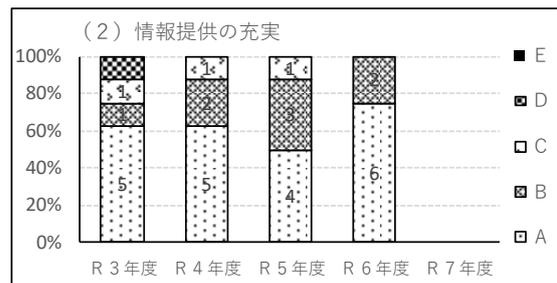
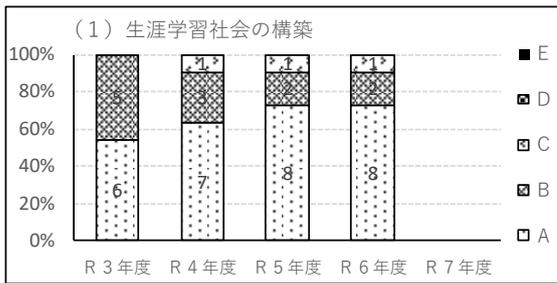
《 2 学習基盤の確立 基本施策》

施策の大綱	達成状況評価	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		「基本計画(項目)」の項目数	%	「基本計画(項目)」の項目数	%	「基本計画(項目)」の項目数	%	「基本計画(項目)」の項目数	%
(1) 生涯学習社会の構築	A	6	54.5	7	63.6	8	72.7	8	72.7
	B	5	45.5	3	27.3	2	18.2	2	18.2
	C			1	9.1	1	9.1	1	9.1
	D								
	E								
	計	11	100.0	11	100.0	11	100.0	11	100.0
(2) 情報提供の充実	A	5	62.5	5	62.5	4	50.0	6	75.0
	B	1	12.5	2	25.0	3	37.5	2	25.0
	C	2	25.0	1	12.5	1	12.5		
	D								
	E								
	計	8	100.0	8	100.0	8	100.0	8	100.0
(3) 優れた人材の育成	A	1	16.7	2	33.3	2	40.0	3	60.0
	B	4	66.7	2	33.3	2	40.0	1	20.0
	C	1	16.7	1	16.7	1	20.0	1	20.0
	D			1	16.7				
	E								
	計	6	100.0	6	100.0	5	100.0	5	100.0
(4) 協力体制の整備	A	4	44.4	6	66.7	5	55.6	6	66.7
	B	1	11.1	1	11.1	4	44.4	3	33.3
	C	1	11.1	1	11.1				
	D	2	22.2	1	11.1				
	E	1	11.1						
	計	9	100.0	9	100.0	9	100.0	9	100.0
(5) 学習成果の活用	A	5	71.4	6	85.7	6	85.7	6	85.7
	B	2	28.6					1	14.3
	C			1	14.3	1	14.3		
	D								
	E								
	計	7	100.0	7	100.0	7	100.0	7	100.0
(6) 学習活動の場の充実	A	6	66.7	6	66.7	6	66.7	8	88.9
	B	2	22.2	2	22.2	2	22.2	1	11.1
	C			1	11.1	1	11.1		
	D	1	11.1						
	E								
	計	9	100.0	9	100.0	9	100.0	9	100.0

《 1 学習活動の推進 基本施策》



《 2 学習基盤の確立 基本施策》



【まとめ】

(1) 順調な事業について

○令和3年度より、A評価が34事業増え、着実に事業が推進されている。

①「各公民館女性教室、成人男性教室、おいで塾系講座等でニュースポーツ教室を開催する」(8ページ事業①)では、仲間づくりや交流の場の促進に向け、ニーズ等を把握し工夫しながら参加しやすい事業実施により、世代間交流が行えている。

②「高齢者が持つ知恵や技術が世代を超えて伝承されるよう支援する」(22ページ事業①)では、こちらも、世代間交流事業で継続的に実施されている。

③「公民館人権講座を開催し、人権意識の向上を図る」(32ページ事業①)だが、1公民館1回以上の人権講座を計画し実施している。人権という難しいテーマの中で、各館が工夫して実施することで人権意識の向上が図られている。

(2) 評価の低かった事業について

○C評価について(6件)

①「市民体育祭を開催し、身近にスポーツを楽しめる機会の充実を図る」(6ページ事業①)だが、参加者自体が減ってきており、C評価となっている。

②「道路利用者に対する交通安全意識の醸成」(42ページ事業②)では、目標を「交通死亡事故ゼロの達成」としており、1件でも死亡事故があると、C評価とせざるを得ない状況となっている。目標数値ではなく、それに向けた事業計画に対し評価を見直す必要がある。

③「いきいき健康券の文化施設での利用促進」(86ページ事業③)では、応援券の利用用途拡大を図り、年間300枚の利用を目標に取り組んでいるが、目標枚数に達せず、昨年より低下していることから、C評価となっている。目標枚数が適正な数値か、また昨年より低下している理由を検証する必要がある。そのほか、さらなる利便性の向上が課題である。

④「各世代のニーズに合わせた公民館講座の開催」(99ページ事業①)だが、特に青年期の世代の方の公民館講座への参加が難しくC評価となっている。青年期の方が、参加しやすい公民館講座を引き続き検討していく必要がある。

⑤「まほらいな市民大学の開催」(109ページ事業①)だが、学生数が伸び悩んでいることから、C評価となっている。今後、どのように学生数を確保していくかが課題であり、検討する必要がある。

○D評価について

今回、D評価(1件)については、「優しい日本語の普及を図る」(20ページ事業②)であった。県の研修動画を活用し市職員を対象に研修を実施する予定であったが、県の研修が実施されなかったため、市職員対象の研修を実施することが出来なかったことからD評価となっている。今後、独自に事業実施が出来るよう検討する必要がある。

(3) 課題について

○C評価の市民体育祭のように、競技人口等が減少傾向にあるものについて、評価の在り方を検討していく必要がある。

○令和6年度からの後期計画に向け、事業を検証し、現在の事業に掲げているもの、また、目標数値が適切かどうか精査し、目標を設定する必要がある。

第2次生涯学習基本構想 重点項目達成状況(R6年度末時点)

基本施策	学習活動の推進	施策大綱	基本計画(項目)	重点項目活動指標						重点項目年度末		事業内容	年度末				
				活動指標	現状地	目標値					実績値		達成率	事業実績	達成目標に対する評価		
						R3.3.31現在	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度						令和7年度	令和6年度
1	学習活動の推進	(1)	いきいきとした暮らしの実現	②	スポーツ・レクリエーション活動の推進	市民体育祭参加者数(人)	1023人	4404人	4525人	4627人	4748人	4869人	2260人	47.60%	市民体育祭を開催し、身近にスポーツを楽しめる機会の充実を図る。	市民体育祭を27種目開催し、4種目を中止(雨天1、会場都合1、主催者都合2)した。	C
						総合型地域スポーツクラブ会員数(人)	2545人	3612人	3711人	3811人	3910人	4010人	2342人	59.90%	総合型地域スポーツクラブへの教室運営事業の委託により、スポーツに親しむ環境の充実を図る。	総合型地域スポーツクラブへの委託により、92教室を運営した。	B
						スポーツ少年団団員数(人)	464人	473人	482人	491人	500人	510人	445人	89.00%	スポーツ少年団の大会を開催し、青少年のスポーツ活動を促進する。	スポーツ少年団の大会を年5回開催し、ホームページで大会結果や活動を紹介した。	A
1	学習活動の推進	(1)	いきいきとした暮らしの実現	②	スポーツ・レクリエーション活動の推進	わんぱくひろばの開催し、地区育成会事業により子ども豊かな社会性、協調性を培う。	毎年1回、わんぱくひろば開催	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	100.00%	わんぱくひろばの開催、地区育成会事業により子ども豊かな社会性、協調性を培う。	従来の開催時間に拡大して実施した。関係団体すべてが出展し、延べ参加者2,105人	A
1	学習活動の推進	(1)	いきいきとした暮らしの実現	②	スポーツ・レクリエーション活動の推進	各公民館におけるニュースポーツ教室の開催数	4回	4回	5回	6回	7回	9回	5回	71.40%	各公民館女性教室、成人男性教室、おいて塾系講座等でニュースポーツ教室を開催する。	富良野公民館他でニュースポーツ体験教室としてボッチャ、モルック、スマイルボリング等を開催した。また夏休みにおいて塾でシャッフルボード、男性教室でニチレクボードといったニュースポーツを体験した。幅広い年代で手軽にできるスポーツで、世代間交流も行うことから、本年度も参加者の声は好評であった。	A
1	学習活動の推進	(1)	いきいきとした暮らしの実現	③	芸術文化活動の推進	参加者アンケートでの「テーマとなっている人物を知っている」回答数(テーマとなっている人物についての理解度)	なし(参考:H31伊澤修二記念音楽祭での回答69%)	70%	73%	75%	78%	80%	75%	96.03%	井月、伊澤修二など、伊那市に關係する「人」をテーマとした文化事業を開催する。	俳句大会は俳句作品に新規の高校が加わり、音楽祭は東京藝術大学と連携し小中高生や多くの市民が出演した。	A
						文化振興補助金の申請件数	3件(ただしR2県文改修工事のため長期閉館期間あり、H31 29件、H30 25件)	24件	25件	25件	30件	35件	25件	83.33%	文化振興補助金	常時、市公式HPに案内を掲示、後援申請手続時に窓口案内を行い制度の周知を図った。	A
						芸術文化体験教室への参加者数	体験教室参加者数169人/年	180人	185人	190人	195人	200人	441人	100.00%	芸術文化体験教室	幼児・大人のバレエ講座、世界のヘルシー料理、アロマ&ハーブ作りなど39講座を開講し、総勢441名の参加がありました。	A
1	学習活動の推進	(1)	いきいきとした暮らしの実現	③	芸術文化活動の推進	信州高遠美術館入館者数	2,445人	14,600人	14,800人	15,000人	15,200人	15,400人	9,500	62.50%	収蔵作品展・企画展の開催	観覧期特別展「池上秀敏生誕150年展」、企画展「若手アーティスト展」、「地域のお宝展II」を開催した。	A
1	学習活動の推進	(2)	歴史・文化の伝承	①	伝統文化の伝承	伝統文化を継続的に修得できる機会の支援	伝統文化親子教室事業(文化庁補助金交付団体数5件)	5件	6件	6件	7件	7件	6件	85.71%	地域保存団体への助成事業:文化庁の補助事業を伝統文化保存団体へ支援することで継続的に親子教室等を開催し、文化や技術を次世代へ継承する	申請6件中全6件が採択された。新たに次年度の募集を市教委共催実績から周知を行った。(13団体)	A
1	学習活動の推進	(2)	歴史・文化の伝承	①	伝統文化の伝承	地区育成会活動(どんど焼き、まんど、七夕まつりなど)	伝承と事業継続	地域育成会活動の維持継続(34団体)	地域育成会活動の維持継続(34団体)	地域育成会活動の維持継続(34団体)	地域育成会活動の維持継続(34団体)	地域育成会活動の維持継続(34団体)	34団体	100.00%	地区育成会活動(どんど焼き、まんど、七夕まつりなど)委託	地区育成会34団体に事業委託を実施。各地区の事業を実施することが出来た。	A
1	学習活動の推進	(2)	歴史・文化の伝承	①	伝統文化の伝承	伝統系講座を実施する公民館数	4館	4館	5館	6館	7館	9館	4館	67.00%	伝統文化に係る講座やクラブ、サークルの活動を通じ、関心を高める。	伝統文化に関する公民館講座として富良野、手良公民館で古文書、俳句、茶道などを開催した。高遠の高遠そばのそば打ち、長谷の入野やそば打ち講座といったそば打ち講座を本年度も開催したところ市内外から多くの参加者があり好評でした。	B

基本施策	実施大綱	基本計画(項目)	重点項目活動指標					重点項目年度末		年度末								
			活動指標	現状地 R3.3.31 現在	目標値					実績値	達成率	事業内容	事業実績 令和6年度	達成目標に対する評価				
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度									
1	学習活動の推進	(2)	歴史・文化の伝承	①	伝統文化の伝承	デジタルアーカイブの写真枚数	27万枚	275,000枚	5,000枚	5,000枚	5,000枚	5,000枚	5,000枚	1,500枚	30.00%	アーカイブ事業について市民の皆様にご覧いただき、利用していただくようにする。	サンハート美和、デイサービスセンターあおば、夢ゆりの里にて計3回の上映会を実施した。	A
1	学習活動の推進	(2)	歴史・文化の伝承	①	伝統文化の伝承	伝統芸能の魅力・価値を継承する体験事業への参加人数	なし(令和3年度より計画・実施)	20人	20人	30人	30人	40人	9人	30.00%	伝統芸能の魅力に触れる体験事業を開催し、伝統文化の保存・継承に対する市民の意識向上を図る	青山学院大学の学生が3日間に渡り伝統文化や芸能、地域課題を見つけた生涯学習プログラムを企画した。一般向けの体験学習は民間団体と共催で企画したが、最低催行人員に達せず中止となった。	B	
1	学習活動の推進	(4)	平等な社会の実現	①	人権同和教育の推進	広報紙や広報番組などを活用した啓発活動の推進	3か月に一度、各課へ掲載について確認を行う。	3か月に一度の掲載確認	3か月に一度の掲載確認	3か月に一度の掲載確認	3か月に一度の掲載確認	3か月に一度の掲載確認	3か月に一度の掲載確認	100.00%	広報誌や広報番組などによる啓発	市報いな11月号、広報番組で「アソビシヤスバ」をテーマに特集を掲載、放送し、理解を深める取り組みを推進した。	A	
1	学習活動の推進	(4)	平等な社会の実現	①	人権同和教育の推進	子育て支援センター等での人権啓発講座の開催	5回	5回	5回	5回	5回	5回	5回	100.00%	人権啓発講座を開催し、市民の人権意識の向上を図る。	市内5か所の子育て支援センターにおいて「多様な性を考えよう、インターネットと人権侵害」などをテーマにしたお出かけ講座を本年度も行った。また、中学3年生へ啓発チラシの配布を行い人権意識の向上を図った。	A	
															人権尊重の明るい伊那市づくり審議会の開催	人権尊重の明るい伊那市づくり審議会を2回開催し、課題の共有を行った。	A	
1	学習活動の推進	(4)	平等な社会の実現	①	人権同和教育の推進	企業訪問時に企業へ向けた人権同和教育啓発用リーフレット配布及び関係機関開催の研修会等への参加促進	130社	130社	200社	200社	200社	200社	204社	100.00%	企業訪問時に企業人権同和教育の啓発を行う。	市内企業アンケート時に併せ、企業人権同和教育に関するパンフレットを送付し啓発を図った。(204社)	A	
1	学習活動の推進	(4)	平等な社会の実現	①	人権同和教育の推進	全国学力・学習状況調査において「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と回答した児童生徒の割合	なし	70%	75%	80%	85%	90%	74.35%	87.47%	学校人権同和教育の推進	学校人権同和教育研究推進委員会が中心となり、学校人権同和教育を推進しました。 ・学校人権同和教育研究推進委員会(5回) ・学校人権同和教育実践計画の策定、実施、検証(21校)	A	
1	学習活動の推進	(4)	平等な社会の実現	①	人権同和教育の推進	「人権」についての知識や理解を深めるため、ニーズに合った人権同和教育講座を継続して実施する。	なし(社会のニーズにあった、違う内容の講演会を年3回実施)	3回	3回	3回	3回	3回	3回	100.00%	人権同和教育講演会を開催し、市民の人権意識の向上を図る。	多くの人権課題の中から、本年も人権課題を変更し、市民や社会のニーズ等にあった人権同和教育講演会を3回実施出来た。例年より、チラシの作成を早くし周知期間を長くしたが、参加者100名程度と伸び悩んだ。人権というものに、どう関心を持っていただくか、検討していきたい。	B	
1	学習活動の推進	(4)	平等な社会の実現	①	人権同和教育の推進	各公民館における人権講座の開催数	8回	9回	9回	9回	9回	9回	12回	100.00%	公民館人権講座を開催し、人権意識の向上を図る。	全公民館において男性、女性教室等で人権講座、講演会を開催した。また長谷公民館では医師中村哲さんのドキュメンタリー映画を上映したところたいへん好評でした。人権問題は難しいテーマですが各館で工夫しながら取り組んでいます。	A	
1	学習活動の推進	(5)	誰もが暮らしやすい社会の実現	①	環境保全への理解と実践活動の促進	伊那市協働のまちづくり交付金の交付割合	82%	85%	90%	95%	100%	100%	76%	76.00%	伊那市協働のまちづくり交付金事業を実施し活動に対する支援を行う。	地域住民の自主的な地域づくり活動31事業に、伊那市協働のまちづくり交付金の支援を行った。	A	

基本施策	施策大綱	基本計画(項目)	重点項目活動指標							重点項目年度末		事業内容	年度末				
			活動指標	現状地 R3.3.31 現在	目標値					実績値	達成率		事業実績	達成目 標に対 する評 価			
					令和3年 度	令和4年 度	令和5年 度	令和6年 度	令和7年 度						令和6年度	令和6年度	
1	学習活動の推進	(5)	誰もが暮らしやすい社会の実現	①	環境保全への理解と実践活動の促進	子どもエコツアーの実施	市内小学校の7校	9校	11校	14校	14校	15校	14校	100.00%	子どもエコツアーの実施	子どもエコツアーを実施した(市内の小学校14校、21クラス(延べ567名が参加))	A
						スターウォッチング「星空観察会」の実施	参加者60名	参加者60名	参加者70名	参加者70名	参加者70名	53名	75.70%	スターウォッチング「星空観察会」の実施	星空観察会・プラネタリウムの視聴(11月7日実施、市内の親子18組53名参加)	A	
						生ごみ処理容器等購入補助の実施	R2年度実績108件	100	100	100	100	100	80件	80%	生ごみ処理容器等購入補助事業(生ごみの減量化)	生ごみ処理容器購入補助(件数:80件、交付決定額:1,400千円)HP、市報により周知し、生ごみ減量化を推進した。	A
1	学習活動の推進	(5)	誰もが暮らしやすい社会の実現	①	環境保全への理解と実践活動の促進		7校	7校	7校	8校	9校	10校	9校	100.00%	小学校において、学習機の天板を地元産材に交換、学校林や隣接森林での森林学習の実施	学校林活動:9校	A
1	学習活動の推進	(8)	学校、家庭、地域の連携強化	①	地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりの推進	ファミリー・サポート・センター協力会員養成講座受講者数	受講者15人	15	15	15	15	14	93.00%	ファミリー・サポート・センター協力会員養成講座を開催し、地域で子育ての助けとなる人材を育成する。	養成講座3市町村で14名参加のうち、14名が修了した。	B	
1	学習活動の推進	(8)	学校、家庭、地域の連携強化	①	地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりの推進	信州型コミュニケーションスクールの運営委員会の年間開催回数	なし	1回	2回	3回	4回	4回	2回	50.00%	学校と地域が持続的に連携・協働し、地域に開かれ地域とともにある学校づくりの仕組みづくり。	各学校において年1回から4回の運営委員会を開催し、学校と地域が連携した取組の検討が進んだ。	A
1	学習活動の推進	(8)	学校、家庭、地域の連携強化	①	地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりの推進	あいさつ運動及び少年補導の実施(子ども達が見守られているというセーフティネットの継続)	62回/年	活動の継続及び維持(62回)	活動の継続及び維持(56回)	活動の継続及び維持(56回)	33回	0	33回実施	100.00%	あいさつ運動及び少年補導の実施	計画した街頭巡回・あいさつ運動を実施した。街頭巡回 33回実施 あいさつ運動 3回実施	A
1	学習活動の推進	(9)	子どもが健康やかに育つ環境の整備	①	家庭の教育力向上	子育て支援センターの子育て講座を開催し、子育てに関する情報提供や相談に応じる。	子育て講座年間81回開催	105回	105回	105	105	105	106	100.00%	子育て支援センターにおいて子育て講座や保健師相談を開催し、子育てに関する情報提供や相談に応じる。	「ママのための防災講座」は大変関心が集まり、赤ちゃん用の非常持ち出しグッズの紹介などを行った。	A
1	学習活動の推進	(9)	子どもが健康やかに育つ環境の整備	①	家庭の教育力向上	乳幼児健診(相談)への出席率	3か月、6か月、10か月、1.6歳児、2歳児、3歳児健診の出席率の平均98.1%	98%	98%	98%	98%	98%	9930%	100.0%(R6.12月現在)	乳幼児や、育児に対する不安解消のため、かかわりを切らさない乳幼児期の相談や健診を実施する。	欠席者には電話等で連絡し次の日程を案内し、受診するまで連絡調整を行った。	A
						出産応援セミナー(出産まじかの妊婦を対象としたセミナー)への出席率	75.10%	76%	80%	80%	80%	80%	8590%	100.0%(R7.1月現在)	出産を2か月後に控えた妊婦を対象としたセミナーを月に1回開催する。	支援サービスを説明し個別相談で育児支援体制を確認したり、申請を受け付けた。 ・月に1回の産前学級④を開催 ・おおよそ86%の出席率となった	A
1	学習活動の推進	(9)	子どもが健康やかに育つ環境の整備	①	家庭の教育力向上	毎日朝食を食べる子どもの人数の割合	84.0%	85.0%	86.0%	87.0%	88.0%	90.0%	95%	100.00%	中学生に朝食を採る習慣を身に付けるよう働きかける	毎年行う食生活アンケートの結果に考察を加えたプリントを年1回家庭に配り、朝食を採ることの大切さを伝えた。(94.8%)	A
1	学習活動の推進	(9)	子どもが健康やかに育つ環境の整備	①	家庭の教育力向上	おはなし会の参加者	923人	969人	1,015人	1,061人	1,107人	1,153人	1,704人	100.00%	おはなし会により多くの方に参加していただき、読み聞かせの習慣をきっかけづくりをする。	定例の読み聞かせの他、公民館において塾や30周年記念事業において新規の読み聞かせ会を実施した。	A
1	学習活動の推進	(10)	高齢者等の生きがいづくり	①	心身の健康づくりの推進	地域で開催する介護予防のための体操等を中心とした教室の支援	教室数49	51	52	52	53	53	52	98.10%	身近な地域で気軽に参加できる「介護予防のための教室」の育成・支援の実施	西春近・中殿島で新規に教室が活動している。	A

基本施策	実施大綱	基本計画(項目)	活動目標	重点項目活動指標						重点項目年度末		事業内容	年度末				
				R3.3.31 現在	目標値					実績値	達成率		事業実績	達成目標に対する評価			
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度						令和6年度	令和6年度	
1	学習活動の推進	(10)	高齢者等の生きがいづくり	①	心身の健康づくりの推進	各公民館における高齢者を対象としたスポーツ・レクリエーション活動の数	4公民館	5公民館	6公民館	7公民館	8公民館	9公民館	9公民館	100.00%	高齢者を対象としたスポーツ・レクリエーション活動を実施し、心身の健康づくりを推進する。	高齢者教室を始めとする公民館講座において、軽運動、ストレッチ体操などの教室づくりを行いました。またスポーツ推進員と協力を得ながら各種スポーツ教室などに取り組みました。	A
1	学習活動の推進	(10)	高齢者等の生きがいづくり	③	仲間づくり・生きがいづくりの推進	高齢者の知恵袋事業を利用した小・中学校数	令和2年度実績5校	6校	7校	8校	9校	10校	8校	88.89%	高齢者が持つ知恵や技術が世代を超えて伝承されるよう支援する	春・秋に小学校に事業説明文書送付。高齢者クラブ総会等における事業説明、8小学校(延べ11)、2高小(延べ3)、3公民館、1区で交流事業を実施。	A
1	学習活動の推進	(10)	高齢者等の生きがいづくり	③	仲間づくり・生きがいづくりの推進	伊那市高齢者クラブ連合会加盟単位クラブ数及び会員数	加盟クラブ数:51(会員数:2,508人)	51	52	53	54	55クラブ(会員数2,550人)	45	83.33%	高齢者が持つ知恵や技術が世代を超えて伝承されるよう支援する	市高連総会等で事業周知を行った。クラブ数45(休会1)、会員数1,960人	B
1	学習活動の推進	(10)	高齢者等の生きがいづくり	③	仲間づくり・生きがいづくりの推進	高齢者が参加可能な公民館講座の維持	7公民館	700%	800%	800%	800%	900%	500%	62.50%	高齢者が公民館活動に参加しやすい環境をつくる。	伊那公民館でスマホ教室を開催し操作方法の基礎、やインターネットへの接続、市防災アプリなどを学習しました。高遠町公民館で様々ですが、毎年多くの参加をいただいています。	B
2	学習基盤の確立	(3)	優れた人材の育成	①	指導者・コーディネーター等の育成	生涯学習を推進する人材の掘り起こし人数	まほらいな市民大学 入学生60人	60人	60人	60人	60人	60人	25人	41.67%	まほらいな市民大学の開催	市報、メール、新聞、有線、HP、い〜なチャンネルを活用しつつ、本年は、様々な会合の中で、市民大学の紹介をしていただき周知を図ったが、入学生25名と伸び悩んだ。問い合わせも、例年より、少なかった。学生による自主講座は、本年も実施し、人材の育成に繋がる取り組みは行えた。	C
2	学習基盤の確立	(3)	優れた人材の育成	①	指導者・コーディネーター等の育成	公民館講座の講師を地域分館講座等の講師としても活用する。	なし	1公民館	200%	400%	600%	800%	100%	17.00%	公民館講座修了者の中で講師を務められる人材を育成する。	伊那公民館のガーデニング講座の受講者について自主講座を立ち上げ伊那中央病院の花壇ボランティアに取り組みしています。また切り絵教室にも熱心な受講者がいることから補助者などを勧めています。	B
2	学習基盤の確立	(5)	学習成果の活用	①	学習成果の発表機会の創出	信州伊那井月俳句大会(高校・一般の部)投句者数	281人(R2実績)	300人	315人	330人	345人	380人	417人	100.00%	信州伊那井月俳句大会の開催	事前投句の応募数は市内外の高校生から投句があり、投句者数が増加した。小中学生の部の投句数も増加して応募があった。	A
2	学習基盤の確立	(5)	学習成果の活用	①	学習成果の発表機会の創出	伊那市民芸術文化祭の参加者(団体)	11団体(展示部門) / 287人(舞台部門)	11団体 / 300人	12団体 / 310人	13団体 / 320人	14団体 / 330人	15団体 / 340人	15団体 / 468人	100% / 100%	伊那市民芸術文化祭	11月30日、12月1日開催。舞台出演468名。展示部門出展数132点	A
						い〜な音楽祭	出演団体を広報により募集することで21団体が出演できた。	A									
						信州伊那井月俳句大会	広報により投句募集を行い、広く市民参加ができた。(事前投句一般1,563句、参加者70人)	A									
伊澤修二記念音楽祭	児童生徒は合唱や合奏により音楽祭へ出演できている。一般市民も公募により合唱団を結成して藝大オーケストラとの共演することができた。	A															
2	学習基盤の確立	(5)	学習成果の活用	①	学習成果の発表機会の創出	市立公民館のエリアを超えた事業の展開を行う	なし	5公民館	6公民館	7公民館	8公民館	9公民館	9公民館	100.00%	市民ニーズの高い講座の新規開設を行う。	伊那公民館の女性教室でボランティア活動として雑巾やゴミ箱などを作成し社会福祉協議会へ届けました。子育て教室、麻雀教室など多くの交流事業に取り組みました。	A

基本施策	基本計画(項目)	活動指標	重点項目活動指標						重点項目年度末		事業内容	年度末					
			R3.3.31 現在	目標値					実績値	達成率		事業実績	達成目標に対する評価				
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度						令和6年度	令和6年度		
2	学習基盤の確立	(6)	学習活動の充実	①	生涯学習施設の整備・充実	防災コミュニティセンター利用者数	21,911人	23,000人	24,000人	25,000人	26,000人	27,000人	18,121	69.70%	防災コミュニティセンターの利用促進	施設PRを、施設利用(自主講座実施拡大)の調整を行った。(講座参加者1,014人)	A
						生涯学習センター利用者数	64,087人	90,000人	105,000人	148,500人	148,500人	148,500人	112,371人	75.67%	館内設備の長期修繕対応	長年の使用により部屋内の壁クロスが劣化したため、貼替え工事を実施しました。	A
2	学習基盤の確立	(6)	学習活動の充実	①	生涯学習施設の整備・充実	インターネット環境整備								運営を管理する中で現状のWi-Fi設備に問題が無いことを確認した。しかし今後の設備更新の情報収集に努める。	A		
2	学習基盤の確立	(6)	学習活動の充実	①	生涯学習施設の整備・充実	体育施設の稼働率	47.80%	52.00%	54.00%	56.00%	58.00%	60.00%	56.30%	97.10%	市民ニーズの高いスポーツ施設を計画的に整備・改修する。	サンビレッジ庭球場のコート2面を改修し、昨年度の改修を含め全面改修が完了した。	A
2	学習基盤の確立	(6)	学習活動の充実	①	生涯学習施設の整備・充実	学校教育に支障のない範囲で学校体育館を開放し市民の利用に供する	学校行事や学校施設工事等及び年末年始等一部祝祭日を除き100%開放	100%	100%	100%	100%	100%	100.00%	学校行事や学校施設工事等及び年末年始等一部祝祭日を除き、100%開放	学校行事や学校施設工事等及び年末年始等一部祝祭日を除き、100%開放を行った。	A	
2	学習基盤の確立	(6)	学習活動の充実	①	生涯学習施設の整備・充実	蔵書数	316,683冊	1,500冊	4,597冊	6,000冊	6,000冊	6,000冊	7,096冊	100.00%	図書資料の充実	「若手アーティスト応援展」「地域のお宝展Ⅱ」を開催し、新たに55点の作品を収集した。	A
						収蔵作品数を適切に管理していく	1,836点	10	10	10	10	10	55	100.00%	魅力ある企画・展示と収蔵資料の充実を図る	各館とも企画展や講座などを行い、資料収集に努めた。(56回)(40件以上)	A
						入館者数	2,146	3,150	4,150	5,150	6,000	7,000	5,120	100.00%	魅力ある企画・展示と収蔵資料の充実を図る	高遠町図書館における資料の除籍が予定通り進められた。西春近公民館図書室の資料は計画どおり進行している。	A
						入館者数	7,424	10,000	12,500	15,000	17,500	20,000	15,700	100.00%			
入館者数	17128	20000	22500	25000	27500	30000	21,930	79.75%									
2	学習基盤の確立	(6)	学習活動の充実	①	生涯学習施設の整備・充実	各公民館を地域で積極的に活用できるように取り組む	なし	9公民館	9公民館	9公民館	9公民館	9公民館	100%	11.11%	公民館の講堂、和室、調理室などを分館活動に活用できるように開放し利用率を上げる。	高遠町公民館では地区分館の会場が手狭であるため、文化祭や講座等を本館で開催することにより、多くの作品を出品していただくことが出来た。また、気兼ねなく参加いただくなどの効果があった。	B